

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	開始年度不明		
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	01 住民主体で進めるまちづくり
	小項目	施策	02 コミュニティ
事務事業名	04	自治会運営支援事業	
根拠法令・例規等		町内会長・区長等永年勤続表彰規程、各種補助金交付規則	
問		担当課(室)	まちづくり推進課
合		職・氏名	協働推進係長 竹林 幸作
先		電 話	0869-64-1806
		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市民で組織する区会、町内会及び自治会連絡協議会
目的(何のために)	市内15地区で168区会・町内会の自主的な運営を支援する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	区会、町内会等への支援により地域組織の活性化を図り、市民生活の向上、市行政との連携・協働によるまちづくりをすすめる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	町内会長等永年勤続表彰	多年にわたり町内会長等として地域振興に寄与した方の功績に対する表彰。 市長表彰：町内会長8年以上ほか、市長感謝状：町内会長6年以上ほか	
	区会等連絡協議会補助金	区会等の代表者による自治会連絡協議会の事業運営に対する補助。 補助額：予算措置額	
	区会等運営費補助金	区会等の事業運営に対する補助。 補助額：予算措置額(均等割、世帯割)	
	自治連絡協議会事務	区会等の代表者による自治会連絡協議会の運営事務。	
	自治会運営支援事業	自治会等の運営支援	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		14,257	14,294	14,249	
	必要人員(人件費)	千円	0.48人	4,115	0.54人	4,944
	事業費		18,372	19,238	18,856	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他( )						
一般財源		18,372	19,238	18,856		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
対象世帯数	説明		事業の対象としての市内における世帯数。			
結果指標量	世帯		15,780	15,777	15,768	
対前年比	%		-	100.0%	99.9%	
活動コスト			18,372,000	19,238,000	16,597,000	
単位当たりコスト	円		1,164	1,219	1,053	

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
市内区会・町内会組織数	目標値(A)	176	176	176	176
	実績値(B)	176	176	176	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

成果指標設定の考え方・式や説明

市民と行政との連携・協働を実現していくため、地域組織への支援を通じて組織を維持していく。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	C

事業の目的やその数値目標である効果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	例年どおり自治会連絡協議会を開催、町内会・区長等永年勤続表彰を行うこととしている。また、旧市町間での段階的な統一をすすめながら区会・町内会の活動に対して補助金を交付する。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
各区分	評価区分 <A~E>	C
各区分、町内会などで様々な活動を実施、地域組織を維持している。また、自治会連絡協議会も区会、町内会と市とのパイプ役として、行政側から見ても事務の効率化が図られている。なお、区会等運営費補助金の算出方法を本年度から統一することとしている。		

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	区会・町内会は協働のまちづくりを進めるパートナーであり、地域を支えている不可欠な組織である。この地域組織の活動を維持・促進する意味からも運営費補助金は有効ではあるが、厳しい財政状況も踏まえ、地域の自立した運営を支援していくことも必要である。					